

URL <http://aomori.lin.gr.jp>

畜産協会だより

Vol.12

発行
社団法人 青森県畜産協会

第8回通常総会 開催

本協会の第8回通常総会が6月17日に青森市の「ラ・プラス青い森」で開催され、平成22年度の事業報告書及び収支計算書等（事業活動決算額 2,840,996千円）が原案どおり承認され、続いて平成23年度の事業計画書、収支予算（事業活動予算額 2,671,750千円）及び関連議案が原案どおり承認されました。

また、本年は、役員の変更期に当たり理事、監事が新たに選出されました。

1. 平成23年度 事業計画の重点事項

(1) 家畜衛生対策

- ① 家畜伝染病の発生・流行の防止のためワクチン接種の推進
- ② 新たなオーエスキ病防疫対策要領に基づいた清浄化の促進
- ③ 24ヵ月齢以上の死亡牛検査の推進及び検査材料保冷施設の運営
- ④ 地区家畜衛生推進協議会との連携及び迅速な家畜衛生情報の提供

(2) 経営支援対策

- ① 畜産経営の安定と生産性向上を図るため経営診断や生産技術支援、インターネットによる中央情報の配信などの総合支援
- ② 肉用牛肥育経営安定特別対策（通称：新マルキン）の推進
- ③ 家畜排せつ物の管理の適正化と堆肥利用の普及促進
- ④ エコフィードなど未活用資源の飼料利用の促進
- ⑤ 高位生産草地や高収量作物への転換促進
- ⑥ 放牧利用等による自給飼料率の向上や生産コストの低減推進

(3) 価格安定対策

- ① 肉用子牛生産者補給金制度及び関連事業の推進
- ② 養豚経営安定対策事業の推進
- ③ 肉用牛経営安定対策補完事業の推進



(挨拶する渡部会長)

2. 改選された新役員

会長	渡部 毅	(再)	学識経験者（元 十和田湖町長）
副会長	山崎 憲久	(再)	上十三地区家畜衛生推進協議会 会長
副会長	相坂 陸秀	(再)	全国農業協同組合連合会青森県本部 運営委員
専務理事	山田 育夫	(再)	学識経験者
理事	小山田 久	(再)	十和田市 市長
理事	小又 勉	(再)	七戸町 町長
理事	古川 健治	(新)	六ヶ所村 村長
理事	山口 眞譽	(再)	(社) 青森県獣医師会 理事
理事	三浦 正名	(新)	三八畜産衛生協議会 副会長
理事	石澤 善成	(新)	津軽地方家畜衛生推進協議会 会長
理事	阿保 直延	(再)	青森県信用農業協同組合連合会 経営管理委員
理事	山内 正孝	(再)	青森県畜産農業協同組合連合会 代表理事会長
理事	大関 政敏	(新)	ゆうき青森農業協同組合 代表理事組合長
理事	布施 久	(新)	(社) 青森県養豚協会 会長理事
理事	田嶋 正榮	(新)	青森県農業共済組合連合会 理事
理事	青野 正宣	(再)	(社) 青森県配合飼料価格安定基金協会 理事長
代表監事	白戸 勝一	(再)	学識経験者（ごしょつがる農業協同組合 代表理事組合長）
監事	根岸 金雄	(再)	おいらせ農業協同組合 代表理事組合長

協会事業のご紹介

家畜衛生課

- 家畜伝染病予防接種などの自衛防疫に関すること
- 家畜衛生の普及啓発・指導に関すること
- 家畜防疫互助基金等に関すること
- 死亡牛の緊急検査処理円滑化に関すること
- 牛の検査材料保冷施設の管理運営に関すること



価格安定課

- 肉用子牛生産者補給金制度に関すること
- 養豚経営安定対策に関すること
- 肉用牛の繁殖経営支援に関すること
- 肉用牛の生産基盤強化対策等に関すること

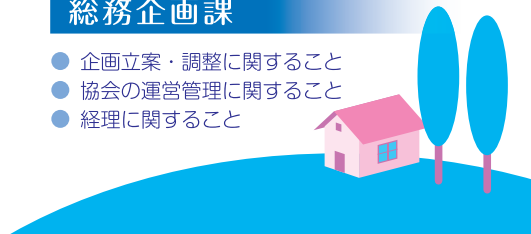
経営支援課

- 畜産の経営及び生産技術の指導に関すること
- 畜産の生産・流通に関する普及啓発及び調査に関すること
- 畜産情報の提供に関すること
- 畜産の環境保全に関すること
- 肉用牛肥育経営安定対策に関すること
- 自給飼料の確保に関すること
- 公共牧場の利用促進に関すること



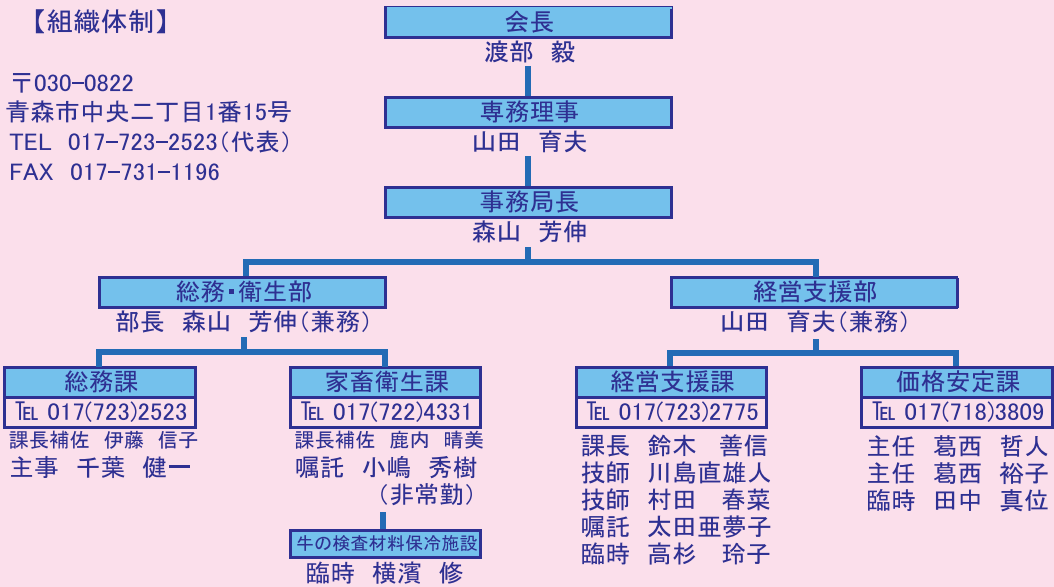
総務企画課

- 企画立案・調整に関すること
- 協会の運営管理に関すること
- 経理に関すること

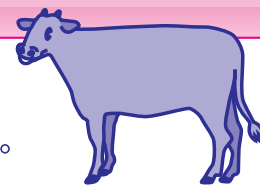


【組織体制】

〒030-0822
 青森市中央二丁目1番15号
 TEL 017-723-2523(代表)
 FAX 017-731-1196



セリ市場成績表



【開催日 23年6月10日】 次回開催日は7月8日(金)です。

1、販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分							前 回 分			Kg 単価 増減	
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg 単価	頭数	平均価格	Kg 単価		
黒毛和種	雄												
	去	376	610,050	114,450	408,338	300	310	1,318	377	425,868	1,351	-33	
	雌	273	844,200	56,700	340,535	310	285	1,195	295	370,497	1,281	-86	
	【小計】	649	844,200	56,700	379,817	304	299	1,269	672	401,561	1,322	-53	
ホルスタイン	雄												
	去												
	雌												
	【小計】	2	97,650	10,500	54,075	257	326	166					
乳用交雑種	雄	1	210,000	210,000	210,000	225	198	1,061					
	去												
	雌	1	202,650	202,650	202,650	325	325	624	1	232,050	671	-47	
	【小計】	2	210,000	202,650	206,325	275	262	789	1	232,050	671	118	

・黒毛和種の頭数649頭で、前回より去勢で1頭減、雌22頭減、全体で23頭減となった。
 ・黒毛和種の平均価格は380千円で、前回より去勢で18千円減、雌29千円減、全体で22千円減となった。

2、主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名号	去勢					雌					合計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花園	188	420,626	315	1,333	303	135	349,806	290	1,208	310	323	391,026	1,284	306	49.9
北平安	31	400,490	321	1,247	316	21	312,900	282	1,109	318	52	365,117	1,196	317	8.0
第2平茂勝	18	390,542	309	1,265	308	17	307,403	276	1,114	314	35	350,160	1,196	311	5.4
安茂勝	11	451,023	324	1,391	299	16	325,566	298	1,091	317	27	376,678	1,219	309	4.2
第2花園	21	384,600	281	1,369	282	11	294,573	269	1,095	320	32	353,653	1,278	295	4.9
茂勝栄	12	402,938	325	1,239	310	4	357,525	311	1,149	308	16	391,584	1,217	310	2.5
百合茂	7	465,750	334	1,394	304	5	370,860	287	1,294	301	12	426,213	1,356	303	1.9
勝忠平	5	444,150	300	1,479	292	6	461,125	289	1,594	290	11	453,409	1,540	291	1.7
総合計	375	408,587	310	1,319	299	273	340,535	285	1,195	310	648	379,917	1,269	304	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第1花園」で49.9%、次いで「北平安」8.0%となった。
 ・第1花園の平均価格は391千円で、前回に比べ19千円安となった。単価は1,284円で前回より55円安となった。

【開催日 23年5月13日】

1、販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分							前 回 分			Kg 単価 増減	
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg 単価	頭数	平均価格	Kg 単価		
黒毛和種	雄												
	去	377	703,500	105,000	426,353	309	315	1,353	427	428,034	1,337	16	
	雌	295	913,500	56,700	370,226	314	289	1,280	323	376,128	1,298	-18	
	【小計】	672	913,500	56,700	401,714	311	304	1,322	750	405,679	1,321	1	
日本短角種	雄												
	去	1	153,300	153,300	153,300	297	331	463	5	146,580	406	57	
	雌	1	176,400	176,400	176,400	336	342	516	1	155,400	356	160	
	【小計】	2	176,400	153,300	164,850	317	337	490	6	148,050	397	93	
乳用交雑種	雄												
	去												
	雌	1	232,050	232,050	232,050	294	346	671					
	【小計】	1	232,050	232,050	232,050	294	346	671					

・黒毛和種の頭数672頭で、前回より去勢で50頭減、雌28頭減、全体で78頭減となった。
 ・黒毛和種の平均価格は402千円で、前回より去勢で2千円減、雌6千円減、全体で4千円減となった。

2、主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名号	去勢					雌					合計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花園	192	439,688	318	1,383	311	155	373,895	292	1,280	313	347	410,299	1,339	312	51.7
北平安	30	405,230	305	1,329	303	21	342,950	281	1,220	322	51	379,585	1,286	310	7.6
第2平茂勝	22	443,482	330	1,345	311	18	333,900	297	1,126	320	40	394,170	1,252	315	6.0
安茂勝	22	426,443	314	1,360	301	17	360,088	300	1,201	316	39	397,519	1,292	308	5.8
第2花園	16	384,891	304	1,265	309	6	304,675	267	1,141	313	22	363,014	1,235	310	3.3
茂勝栄	14	399,000	313	1,273	324	10	346,080	304	1,140	308	24	376,950	1,219	317	3.6
百合茂	7	480,750	319	1,506	302	5	468,930	288	1,626	300	12	475,825	1,553	301	1.8
勝忠平	6	478,800	328	1,458	291	4	657,038	297	2,216	290	10	550,095	1,743	291	1.5
総合計	377	426,353	315	1,353	309	294	369,343	289	1,277	314	671	401,374	1,321	311	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第1花園」で51.7%、次いで「北平安」7.6%となった。
 ・第1花園の平均価格は410千円で、前回より2千円安となった。単価は1,339円で前回より7円高となった。

家畜衛生功労者 表彰

青森県畜産協会では地域の生産者や指導者の中から功労のあった方々を表彰しています。

【三八地域】

氏名：本田 しげ 氏 (ほんだ しげ)

市町村：三戸郡五戸町

経営形態：肉用牛肥育

飼養頭数：黒毛和種 繁殖牛1頭、肥育牛150頭

功績：

当地に嫁ぐと同時に家業の酪農に就農、昭和49年に乳肉複合経営に切り替えを始め、平成元年に酪農から黒毛和種、乳雄肥育を主体とした肉用牛経営に切替えた。

現在は黒毛和種150頭の肥育を行い、地域のブランド牛でもある倉石牛の生産に参加し、常に安定した経営を維持している。そして、平成10年より仙台食肉市場で毎月開催される枝肉共励会で名誉賞を2回獲得すると入会の資格が得られる「東北牛匠会」会員として当地域の肉用牛生産の振興に大きく貢献している。



(写真：ご子息の貴紀さん)

氏名：椛木 健一 氏 (かばき けんいち)

市町村：三戸郡三戸町

経営形態：肉用牛一貫

飼養頭数：黒毛和種 繁殖牛15頭、肥育牛7頭、
子牛10頭

功績：

昭和30年に広島県から黒毛和種繁殖牛を導入し肉用牛経営を始めた。平成9年12月に人工授精師の免許を取得し、優良子牛生産に努め、常に安定した経営を維持している。また、昨年より肥育を含めた一貫経営に切り替えるなど黒毛和牛の改良にもつとめている。肉用牛経営の傍ら、昭和58年に家畜商の免許を取得し、現在は青森県家畜商業協同組合三戸支部の理事を務めるなど、地域のリーダーとして畜産振興に大いに貢献している。



【東青地域】

氏名：石田 勝則 氏 (いしだ かつのり)

市町村：東津軽郡外ヶ浜町

経営形態：肉用牛繁殖

飼養頭数：黒毛和種53頭（成雌35頭、子牛18頭）

功績：

同氏の牧場は、同氏の父が昭和32年に旧蟹田町で1頭の乳用牛を導入し始めた酪農経営が基礎である。同氏は平成3年県営農大畜産過程を卒業し、家畜人工授精師免許を取得後、一時他業種に就職していたが、平成5年頃から実家の酪農支援をきっかけに自ら県の特別導入事業により肉用繁殖牛3頭を導入、その後乳肉複合経営として規模拡大してきた。

現在は酪農経営から肉用牛経営に完全に移行し、黒毛和種繁殖成牛35頭を飼養する東青地区では最も規模の大きい畜産農家である。

同氏の牛舎は全て自らの手により作られ、さらに牛舎裏山を放牧地として活用するなどハード、ソフト両面において低コスト肉牛生産を実証している。

また、日頃から家畜衛生に対する意識が高く、日常の消毒等衛生管理のほかに繁殖交配技術でも日々の改良育成に対して研鑽に励み、若手後継者として他地域肉用牛振興のリーダーとして期待されている。



【上十三地域】

氏 名：下久保 トキ子 氏 (しもくぼ ときこ)

市 町 村：十和田市

経営形態：肉用牛繁殖

飼養頭数：黒毛和種29頭（繁殖27頭、育成2頭）

功 績：

就農した昭和53年当時から、乳雄肥育を行っていたが、昭和60年頃から段階的に黒毛和種を導入し、平成3年には完全に肉用牛繁殖経営に切り替え、その後も順調に頭数を増やし、現在黒毛和種繁殖27頭、育成2頭を飼養している。現在、JA十和田おいらせ改良組合理事を務め、地域の黒毛和種の改良にも取組むとともに、平成10年にはJA十和田おいらせ婦人部会長に選出され、会として研修会の開催、牛肉まつりやモーモーマー母ちゃん等のイベントに積極的にに関わり、地域の婦人部の知識は勿論、意識や地位の向上を目指し、部会の中心となって活躍している。



氏 名：白山 孝男 氏 (しらやま たかお)

市 町 村：十和田市

経営形態：授産施設（指導員）

功 績：

昭和62年、利用者の飼養管理や生活支援指導のため勤務。園では利用者が牛の世話をすることにより牛に対する優しさや積極性が養われるなど作業を通じたアニマルセラピー効果を期待する園の責任者である。

「牛がつなぐ福祉と畜産の里、牛づくりは人づくり」を目標に指導を続

けた結果、平成20年には中央畜産会主催の畜産大賞にて地域振興部門特別賞を受賞。また、人づくりだけではなく、県共進会等でもチャンピオン牛を出すなど、人工授精師の経験を活かし、園の牛の改良にも積極的に取組んでいる。園では現在80頭の繁殖牛と55頭の子牛、5頭の肥育牛を飼養。自らも黒毛和種の一貫経営を行い、共進会等でも多数の上位入賞を果たしている。



【津軽地域】

氏 名：宮腰 浩一 氏 (みやこし こういち)

市 町 村：大鰐町

経営形態：養鶏（青森シャモロック）

飼養頭数：5,400羽

功 績：

同氏はこれまで大鰐町で建設業を営んでいたが、平成16年により多角的な企業経営を模索する中、青森県が開発し推奨する地鶏「青森シャモ

ロック」と大鰐町の自然豊かな地域性を活かし新たな地域産業に結びつけるため、農業生産法人大鰐振興を立ち上げた。大鰐振興では、これまでの建設業の経験を活かし、畜舎等は全て自力施工した青森シャモロックファームを建設するとともに平成17年には認定小規模食鳥処理場を併設しました。現在、鶏舎15棟、育雛舎1棟を飼育専従2名、食鳥処理専従5名、合計7名で約5,400羽を飼養し稼働している。

大鰐シャモロックファームは、青森県の特産地鶏「青森シャモロック・ブランド推進協議会」の指定農場で、飼養管理は、特産地鶏「青森シャモロック飼養管理マニュアル」に準じて管理された一貫生産体制が整備され、生産された商品は町内・県内をはじめ関東や関西など大都市圏を中心としたホテル、レストラン等の食材として販売されているほか、インターネットによる販売にも取組んでいる。更に、青森県と弘前市の物産協会にも加入し百貨店などで開催されるイベント等に積極的に参加し、宣伝活動による青森県の地鶏「青森シャモロック」のPRや地域の活性化にも貢献している。



家畜防疫互助基金加入者の皆様方へ

家畜防疫互助事業とは・・・口蹄疫、豚コレラ等の海外悪性伝染病が万が一発生した場合、畜産経営への影響を緩和するため生産者自らが積立を行い、発生時の損害を互助補償する仕組みに国（独）農畜産業振興機構が支援を行う事業です。

家畜防疫互助基金生産者積立金の積戻し（積増し）についてのお願い

このたび、宮崎県における我が国の歴史上前例のない大規模な口蹄疫の発生（292例、患畜、疑似患畜約21万2千頭）を受け、本事業の加入者の経済的損失を最小限にするため、互助の精神に基づき、皆様の積立金と（独）農畜産業振興機構の支援（出資比率＝1：1）からなる互助基金より、約51.5億円の経営支援互助金が交付されました。

この交付は加入者の経営再建の大きな支えであるだけでなく、発生地域の復興に不可欠なものであり、皆様のご協力に心より感謝いたします。

今回の交付に当たっては、皆様の積立金が不足（約21.2億円）したことから、（独）農畜産業振興機構（ALIC）からの立替えでの対応を余儀なくされました。

この立替分の対応については皆様に今後ご案内させていただく予定ですが、現在、生産者積立金が枯渇した状態であることから、今般、期中（本年度）の新たな対象疾病の発生に備えて、生産者積立金の積戻しによる基金の回復※を早急に行うこととなりました。

※家畜防疫互助事業実施基準に基づく処置であり、今期終了時点での生産者積立金の残額は納付者に返還します（無事戻し）。

家畜防疫互助制度は生産者自らが積み立てを行い、発生時の損害を互助補償する制度です。本制度を維持し、今後も安心して畜産経営を継続することができるよう、このような事情について、特段のご理解をいただき、ご協力をお願いいたします。

なお、納付期限までに追加納付をいただけない場合には、万一、納付期限後に対象疾病が新たに発生した際は、互助金を交付できませんので、ご留意してください。

生産者積立金の積戻し単価

（1頭当たり）

区分	家畜の種類	生産者積立金の積戻し単価	
乳用牛	24ヶ月齢以上	80円	
	24ヶ月齢未満	40円	
肉用牛	肉専用種繁殖牛（24ヶ月齢以上）	80円	
	肉専用種繁殖牛（24ヶ月齢未満）及び肉専用種肥育牛	60円	
	交雑種肥育牛	40円	
	乳用種肥育牛	40円	
豚	家族型	繁殖用種豚（雌）	80円
		繁殖用種豚（雄）	160円
		肥育豚	25円
	企業型	繁殖用種豚（雌）	90円
		繁殖用種豚（雄）	180円
		肥育豚	35円

生産者積立金の積戻し納付額

生産者積立金の積戻し納付額は、既契約頭数に生産者積立金の積戻し単価を乗じて求めます。

生産者積立金の積戻し納付金の請求

生産者積立金の積戻し納付金は県協会から契約者あてに請求させていただきます。

生産者積立金の積戻し納付金の納付期限

県協会から請求を受けた契約者は、平成23年9月30日までに県協会又は事務委託先の農協等が指定する金融機関の口座に振込をお願いいたします。

お問い合わせ 家畜衛生課 017-722-4331

競走用馬の予防接種プログラム



軽種馬・競走用重種馬の予防接種

近年、馬インフルエンザの発生により競馬開催が中止されるなど大きな影響がでたことから、馬の予防接種が重要となっております。

このため、軽種馬・競走用重種馬は次の予防接種プログラムを実施しなければ競馬場等に入厩出来ない場合があります。

各主催者側が更に詳細な要件を定める場合は、その指示に従ってください。

1歳馬	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
3種混合 (基礎1回目)	① 基礎1											
3種混合 (基礎2回目)		② 基礎2 (注1)										
3種混合 (補強)					③ 補強 (注2)							
馬インフルエンザ (補強)										④ 補強 (③の接種済馬)		

注1) ②基礎2回目の接種は、①基礎1回目の接種後4週間～2ヶ月以内に行う。

注2) ③補強接種は、②基礎2回目の接種後概ね3ヶ月後(2～4ヶ月後)に接種する。

2歳馬	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
3種混合 (補強)					⑤ 補強							
日本脳炎 (補強)					⑥ 補強 (注3)							
馬インフルエンザ (補強)										⑦ 補強 (⑤の接種済馬)		

注3) ⑥補強接種は、⑤3種混合ワクチンの接種後2週間～2ヶ月以内に行う。

繁殖牝馬	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
馬インフルエンザ										補強(年1回)		

休養中あるいは育成中の競走用や乗馬などにも予防接種を徹底しましょう！

集団で予防接種を心がけましょう！

* 予防接種については、獣医師に相談してください。

お問合せ 家畜衛生課 017-722-4331



インフォメーション



あomorい畜産堆肥展示会2011を開催します!

開催日時：平成23年7月15日（金）～16日（土）9:00～15:00

場所：六戸町大字折茂字沖山10-117（ヤンマー農機展示会場内）

内容：県内の畜産農家が生産する堆肥を展示、斡旋を行います。



地方競馬全国協会からのご案内

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は地方競馬全国協会までご連絡ください。
地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

お問合せ先 地方競馬全国協会 審査部 登録課 Tel 03-3583-2142

ホームページ <http://www.keiba.go.jp/>

八戸祭市場開催のご案内（サラブレット1歳）

開催日：平成23年8月3日（水）

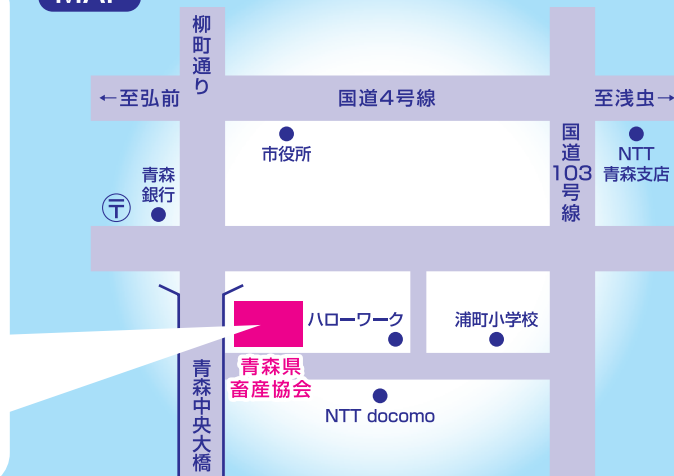
場所：八戸家畜市場 三戸郡南部町柁渡字鮫ノ口8-13 Tel 0178-27-0458

主催：青森県軽種馬生産農業協同組合

ビルの上にいる牛が目印です。



MAP



社団法人 青森県畜産協会

〒030-0822 青森県青森市中央二丁目1番15号（畜連ビル）

総務課 Tel(017)723-2523(代)

家畜衛生課 Tel(017)722-4331

経営支援課 Tel(017)723-2775

価格安定課 Tel(017)718-3809

FAX (017)731-1196

URL <http://aomori.lin.gr.jp>E-mail info@aomori.lin.gr.jp